

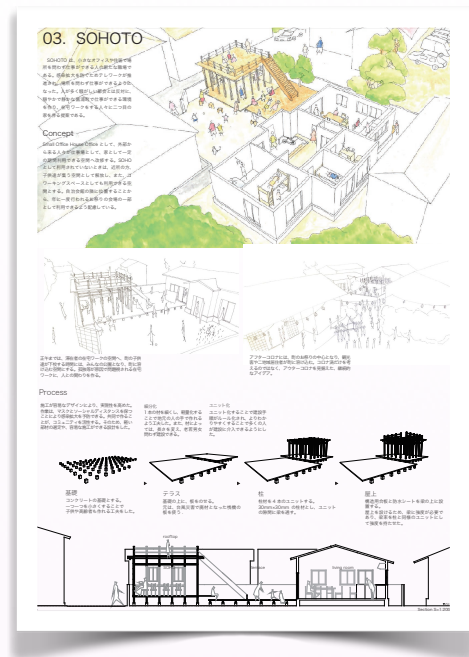
【入賞】

No.22 「SOHOTO」

山崎一慧 芝浦工業大学建築学部建築学科4年

受賞コメント

減災を建築分野の観点から考えました。災害は、突然起こる一時的なものですが、それに備える空間は恒常的なもので、災害が起きる前と後の空間のあり方を深く考えました。私の案は、新型コロナウイルスに対する減災の提案ですが、このコンペティションを通して、様々な分野の減災の提案と出会うことができました。改めて、災害と人、災害と暮らしとは何か考え、減災だけでなく社会問題と向き合うことの重要性に気付くことができました。



評価コメント

18mm断面積の木材だと、反りや捻じれが出やすく、初期の形状を維持できるのかが疑問。床板の接合、柱の固定、など施工上大きな課題が残されている。（相良）

課題の着眼点は良かったが、提案内容の具体性とその魅力に乏しい。ソーホー的、集会所的機能のその建築空間が、どのような具体性でどんな魅力となるのか。その運用をどのようにすれば、もたせたい機能が具体化するのか、等、プランから見えてこないのは残念。（平林）